

第 8 事業年度
事業計画書

自 令和 2年4月 1日
至 令和 3年3月31日

一般社団法人 十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会

〒080-0801

帯広市東1条南2丁目1番地

TEL 0155 (25) 0722 FAX 0155 (25) 0725

<http://www.sakemasu.net//>

E-mail : sakemasu-obihiro@nifty.com

目 次

令和2年度 基本方針	1
事業計画	
1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業	2
(1) 親魚捕獲採卵事業	
(2) ふ化放流事業	
2. 増殖施設、捕獲施設整備事業	2
3. さけ・ます放流体制緊急転換事業	3
(1) さけ・ます放流体制転換調査	
(2) 回帰親魚調査	
4. さけ・ます等栽培対象資源対策事業	3
5. 北海道委託事業	3
6. ふ化放流助成事業	3
7. さけます資源保護対策・研修活動事業	4
(1) 試験調査事業	
(2) 教育研修事業	
(3) 密漁防止対策事業	
(4) 河川環境保全対策事業	
8. 受入並びに負担事業	4
(1) ふ化放流助成事業（基準事業費）	
(2) 秋さけ資源増大対策資金	
収支予算書	5～8
令和2年度会費の額及び徴収方法	9
表－1 令和2年度サケ人工ふ化放流計画	10

令和2年度 基本方針

令和元年度の秋さけ定置漁業は、操業開始から低水準の漁獲量でスタートし、最終的に2,999トンと前年対比102%の漁獲量と3年連続厳しい状況で終漁しました。

金額は、前年度単価1割安の540円台で推移したため、総体で2億円低い16億円という結果となりました。

親魚確保は西部地区では155千尾で計画を達成することができましたが、東部地区では35千尾と遡上不振で総体で計画の7割の達成率となりました。種卵確保については日高、北見管内増協から種卵を移殖していただき、計画の約8割を確保することができました。あらためて、関係機関、各地区の漁業者の皆様の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

さて、ご承知のとおり3年連続で水揚げ金額が20億円を割り込む危機的な状況にあり、前年度から2%の会費の値上げをお願いしたところでございます。本年度についても同レベルの資源水準を想定し、会員の皆様の漁業経営は非常に厳しいものがあると重々承知しておりますが、ひき続き2%の特別負担をお願い致します。

また、施設整備のための積立分として1.5%を負担していただいております。この施設整備の積立分は中期的な施設整備計画を立てた上で老朽化の進む施設の維持・改修のための費用に充てる資金ですが、本協会の事業運営が安定するまで大きな整備は行わないこととしています。

本年度の事業計画では秋さけ定置の水揚げ計画を前年度計画35億円から15億円下げた20億円を計画し、更なる圧縮をはかるため、ふ化事業、捕獲採卵事業体制の見直しをはかり、必要最低限の予算で事業を進めていきます。

その他さけ定置漁業を発展させていくために、試験研究機関による資源低迷要因の早期解明をしていただくとともに、漁業者自らが地場資源づくりに取り組んでいく必要があります。国や道の支援を受けまして、回帰率向上に向けた調査事業を実施する計画でございます。難しい局面にありますが、増殖事業なくして、秋さけ定置漁業の将来はありません。何とぞご理解いただきますようお願いする次第であります。

いずれにしましても、道東太平洋資源の低迷や海洋環境の変化など管内の定置漁業を巡っては厳しい状況が続いております。こうした厳しい情勢を踏まえつつ、万全の態勢で地場資源作りの推進に努めていく所存でありますので会員の皆様の深いご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

事業計画

1. 捕獲採卵事業及びふ化放流事業

道が策定した令和2年度さけ・ます人工ふ化放流計画に基づき、捕獲採卵事業河川5河川と補完河川4河川において、期別の採卵計画に沿って良質卵の確保を目標に事業を実施して参ります。

(1) 親魚捕獲採卵事業

事業河川である十勝川、釧路川、広尾川、楽古川、幌戸川の捕獲場において、東部地区88,600尾、西部地区147,400尾、合わせて236,000尾の親魚確保を目指します。補完河川（歴舟川、小紋別川、藻散布川、別寒辺牛）については地元漁協と連携し、種卵不足時に対応できる体制を整えて参ります。余剰親魚等の売却につきましては、北海道との業務委託契約に基づき売却処理し、売却代は本会の運営財源と一部を道増協への親魚等売却負担金として納入します。

(2) ふ化放流事業（表－1）

十勝釧路管内21カ所のふ化放流施設において、14名の技術職員により健苗育成と放流手法の改善を実施し、資源回復に向けて回帰率の向上に努めます。地場卵2億1,862万粒から東部地区6,885万尾、西部地区1億1,650万尾、全体で1億8,535万尾の放流を目指して参ります。この内、二次飼育、海中飼育については、各漁協及びさけ定置部会の協力のもと実施します。

[令和2年度 さけ捕獲採卵・ふ化放流計画概略]

海区	地区	期別	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	稚魚放流数 (千尾)	内海中飼育等 放流数(千尾)	
エリモ以東	東部	前期	35,500	32,630	27,530	4,160	
		中期	38,200	35,050	29,660	5,040	
		後期	14,900	13,700	11,660	0	
		計	88,600	81,380	68,850	9,200	
	西部	前期	57,300	54,250	45,280	0	
		中期	69,700	64,200	55,150	2,000	
		後期	20,400	18,790	16,070	0	
		計	147,400	137,240	116,500	2,000	
	合計			236,000	218,620	185,350	11,200

2. 増殖施設、捕獲施設整備事業

本年度について前年度全焼した更別第二飼育場採卵舎の建て直しを以下のとおり行います。その他施設整備は緊急を要する補修修繕のみ行っていきます。

単位：千円

事業内容	事業費	道増協補助金	自己負担	備考
更別第二飼育場				
採卵舎	14,000	7,000	7,000	
動力設備	5,000	2,500	2,500	
器具備品	21,000	10,500	10,500	
合計	40,000	20,000	20,000	税込み

3. さけ・ます放流体制緊急転換事業

事業主体：(公社) 北海道さけ・ます増殖事業協会

(1) さけ・ます放流体制転換調査

近年の海洋環境の変化に耐えうる、より健苗な稚魚を放流し、稚魚の生残率を高めるため、更別ふ化場で生産するさけ稚魚 3,200 千尾に標識を付け、従来密度飼育と低密度飼育放流の違いによる回帰効果を検証する事業を行っていきます。

(2) 回帰親魚調査 (放流手法改良調査)

平成 27 年度から広尾ふ化場で実施してきた放流手法改良調査において放流した稚魚の回帰効率を把握するため、河川に回帰した親魚の耳石を採取し、放流稚魚の耳石標識との照合と分析を行い、標識魚の回帰効果を調査します。

4. さけ・ます等栽培対象資源対策事業 (内『さけ・ますふ化放流抜本対策事業』)

事業主体：(国研) 水産研究・教育機構

水産庁は平成 30 年度から放流後の河川や沿岸での減耗回避技術開発を図るため、釧路川において耳石標識を施した稚魚の放流と追跡調査を北水研、内水試、釧定協と連携して行います。

5. 北海道委託事業

(1) 秋サケ環境適応育成実証業務委託

遊泳力の強化や飢餓耐性の向上が期待できる DHA を添加した飼料を放流前 7 日間と 14 日間の期間に分けて秋サケ稚魚に給餌し遊泳力、飢餓耐性を調査する。

事業主体：北海道

(2) さけ資源の増殖と効率的管理に関する調査業務委託

さけ稚魚の適切な放流適期を解明するため、沿岸水温の観測や放流直前の稚魚状態と回帰状況を把握し、適正な放流時期を検証する。

事業主体：北海道資源管理協議会

6. ふ化放流助成事業

各漁協、部会で実施している河川での稚魚二次飼育事業費に対して以下の通り助成を致します。

釧路地区

単位：千円

幌 戸	太 田	チョロベツ	庶 路	茶 路	音 別	小 計
7,350	2,750	4,600	700	9,400	2,700	27,500

十勝地区

更 生	小紋別第 1	小紋別第 2	大 樹	小 計	合計
5,200	900	1,800	600	8,500	36,000

7. さけ・ます資源保護対策・研修活動事業

(1) 試験調査事業

十勝地区、釧路地区水産技術普及指導所と連携し、沿岸水温、プランクトン、潮流等の沿岸環境調査を実施して、タイミングを図りながら適期放流を行います。

(2) 教育研修事業

北水研、内水試、道増協及び関係機関が主催する技術研修会等に積極的に参加し、ふ化放流技術の向上を図ります。その他、作業の効率化を図るため、必要な作業免許の取得を行います。

(3) 密漁防止対策事業

管内の主要捕獲河川において、関係機関のご協力を得て密漁監視パトロールを実施して、密漁防止に努めます。

(4) 河川環境保全対策事業

管内における増殖河川の環境調査及び汚濁防止のための監視活動及び、水質保全のための水質調査を実施します。水質事故があった場合には関係機関と連携し解決に向け迅速に対応します。その他、開発建設部並びに建設管理部が行う河川工事について、関係機関との協力体制のもと取り進めて参ります。

8. 受入並びに負担事業

(1) ふ化放流助成事業（基準事業費）

道増協が実施する増殖事業支援事業費体制に対して、漁獲高割負担金を応分額支出する一方で、ふ化放流事業に対して助成金を受け入れます。

(2) 秋さけ資源増大対策資金

本会が実施する増殖施設整備事業にあてる目的のエリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会からの助成について、資金運用管理規程に基づき適正に管理して参ります。

収支予算書

(資金ベース)

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:千円)

科	目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①	特定資産運用収入	0	0	0	
	特定資産利息収入	0	0	0	
②	会費収入	215,400	371,400	△ 156,000	
	会員会費収入	400	400	0	
	漁獲高割会費収入(秋)	178,000	311,500	△ 133,500	水揚げ20億8.9%
	漁獲高割会費収入(積)	30,000	52,500	△ 22,500	水揚げ20億1.5%
	漁獲高割会費収入(春)	7,000	7,000	0	
	漁獲高割会費収入(特)	0	0	0	
③	事業収入	58,419	56,419	2,000	
	親魚捕獲採卵事業収入	31,500	31,500	0	
	親魚等売却収入	(30,000)	(30,000)	(0)	
	補完河川親魚売却収入	(1,500)	(1,500)	(0)	
	放流体制転換事業稚魚売却収入	11,200	11,200	0	
	業務受託収入	15,719	13,719	2,000	
	施標業務受託収入	(1,219)	(1,219)	(0)	
	北海道業務受託収入	(2,000)	(0)	(2,000)	
	栽培対象資源対策事業受託収入	(12,500)	(12,500)	(0)	
④	補助金等収入	238,388	247,826	△ 9,438	
	道増協助成金収入	238,388	247,826	△ 9,438	
	増殖事業支援事業費収入	(217,888)	(247,600)	(△ 29,712)	
	増殖施設整備等助成事業助成金収入	(500)	(226)	(274)	
	増殖施設整備等補助金	(20,000)	(0)	(20,000)	
⑤	受取負担金収入	350	350	0	
	受取負担金	350	350	0	
	太平洋延縄漁業負担金	(350)	(350)	(0)	
⑥	雑収入	290	700	△ 410	
	受取利息収入	0	0	0	
	職員住宅料収入	240	400	△ 160	
	雑収入	50	300	△ 250	
事業活動収入合計		512,847	676,695	△ 163,848	

科	目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
2. 事業活動支出					
①事業費支出		398,690	452,400	△ 53,710	
	職員給料手当支出	63,510	73,000	△ 9,490	
	臨時労務費支出	45,000	61,500	△ 16,500	
	法定福利費支出	15,190	17,700	△ 2,510	
	福利厚生費支出	3,000	3,200	△ 200	
	会議費支出	240	400	△ 160	
	旅費交通費支出	2,200	2,400	△ 200	
	通信費支出	2,300	2,300	0	
	備品費支出	3,000	1,000	2,000	
	消耗品費支出	16,000	16,000	0	
	餌料費支出	26,000	30,000	△ 4,000	
	施設費支出	0	0	0	
	施設調査費支出	500	1,000	△ 500	
	補修費支出	15,500	20,000	△ 4,500	
	燃料費支出	14,000	14,000	0	
	光熱水料費支出	5,500	5,500	0	
	動力費支出	71,500	79,500	△ 8,000	
	賃借料支出	21,000	21,500	△ 500	
	車輛費支出	29,750	30,000	△ 250	
	親魚販売諸費用支出	2,000	2,500	△ 500	
	租税公課支出	6,700	7,000	△ 300	
	負担金支出	45,100	52,400	△ 7,300	
	ふ化放流事業負担金支出	(36,000)	(38,300)	(△2,300)	
	捕獲事業負担金支出	(1,500)	(1,500)	(0)	
	種苗放流手法改良調査事業負担金支出	(5,600)	(5,600)	(0)	
	道増協施設等改良支援負担金支出	(2,000)	(2,000)	(0)	
	道増協種卵移殖負担金	(0)	(5,000)	(△5,000)	
	委託費支出	4,700	5,500	△ 800	
	雑費支出	6,000	6,000	0	

科	目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
②管理費支出		100,594	141,863	△ 41,269	
	役員報酬支出	6,000	6,000	0	
	給料手当支出	8,800	9,500	△ 700	
	法定福利費支出	2,670	2,080	590	
	福利厚生費支出	500	500	0	
	会議費支出	1,000	1,000	0	
	旅費交通費支出	3,500	4,000	△ 500	
	通信運搬費支出	500	550	△ 50	
	備品費支出	50	100	△ 50	
	消耗品支出	500	500	0	
	図書購入支出	90	90	0	
	修繕費支出	600	700	△ 100	
	印刷費支出	150	150	0	
	燃料費支出	550	550	0	
	光熱水料費支出	650	650	0	
	車輛費支出	800	800	0	
	賃貸料支出	1,600	1,900	△ 300	
	広告宣伝費支出	130	130	0	
	保険料支出	4,000	4,000	0	
	租税公課支出	3,000	3,000	0	
	負担金支出	63,100	103,110	△ 40,010	
	道増協漁獲高割負担金支出	(60,000)	(100,000)	(△40,000)	
	増殖施設有償貸付負担金支出	(250)	(250)	(0)	
	親魚等売却負担金支出	(2,000)	(2,000)	(0)	
	全国組織負担金支出	(840)	(840)	(0)	
	支払い負担金支出	(10)	(20)	(△10)	
	支払利息支出	1,000	1,080	△ 80	
	交際費支出	500	500	0	
	雑支出	904	973	△ 69	
	事業活動支出計	499,284	594,263	△ 94,979	
	事業活動収支差額	13,563	82,432	△ 68,869	

II 投資活動収支の部	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 投資活動収入				
①特定資産取崩収入	45,740	5,540	40,200	
特別準備金取崩収入	0	0	0	
施設整備積立金取崩収入	45,740	5,540	40,200	
(自己積立口取崩収入)	(40,200)	(0)	(40,200)	
(漁獲高割会費口取崩収入)	(5,540)	(5,540)	(0)	
役員退任慰労金引当資産取崩収入	0	0	0	
②固定資産売却収入	0	0	0	
投資活動収入計	45,740	5,540	40,200	
2. 投資活動支出				
①特定資産取得支出	8,763	82,432	△ 73,669	
施設整備積立資産取得支出	0	72,500	△ 72,500	
(自己積立口取得支出)	(0)	(0)	(0)	
(漁獲高割会費口取得支出)	(0)	(72,500)	(△72,500)	
退職給付引当資産取得支出	8,763	9,182	△ 419	
役員退任慰労金引当資産取得支出	0	750	△ 750	
②固定資産取得支出	40,000	0	40,000	
土地購入支出	0	0	0	
建物建設(購入・取壊)支出	14,000	0	14,000	
構築物建設支出	0	0	0	
建物附属設備建設支出	5,000	0	5,000	
車輛運搬具購入支出	0	0	0	
機械装置購入支出	10,000	0	10,000	
工具器具備品購入支出	11,000	0	11,000	
投資活動支出計	48,763	82,432	△ 33,669	
投資活動収支差額	△ 3,023	△ 76,892	73,869	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入	100,000	100,000	0	
短期借入金収入	100,000	100,000	0	
長期借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	100,000	100,000	0	
2. 財務活動支出				
①借入金返済支出	110,540	105,540	5,000	
短期借入金返済支出	100,000	100,000	0	
長期借入金返済支出	10,540	5,540	5,000	長期運転資金+施設整備
財務活動支出計	110,540	105,540	5,000	
財務活動収支差額	△ 10,540	△ 5,540	△ 5,000	
IV 予備支出				
当期収支差額	0	0	0	

令和2年度会費の額及び徴収方法

1. 会費の額

(1) 定額会費

10漁業協同組合及び10市町村の会員に対して2万円の負担をお願い致します。

(2) 春さけ定置漁業会費

漁獲金額（消費税控除後）の2.0%とする。

会費は8月31日までに納入願います。

(3) 秋さけ定置漁業会員会費

① 漁獲金額（消費税控除後）の8.9%とする。

※秋さけ定置漁獲高割会費6.9%+特別会費2.0%

② 漁獲金額（消費税控除後）の1.5%を施設整備のための積立とする。

(4) 特別採捕事業負担金（小定置）

① 漁獲金額（消費税控除後）の5.0%とする

② 漁獲金額（消費税控除後）の1.5%を施設整備のための積立とする。

(5) 賛助会員会費

免除とする。

2. 入会金

新規に入会するものは2万円を納入する。

3. 会費の納入時期

事業の運営をスムーズに実施するため、原則として毎月水揚げ分の会費は、毎月10日までに納入願います。

表-1

令和2年度サケ人工ふ化放流計画:全体(案)

(一社)十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会

海区	地区	振興局	捕獲場 ()は補完河川	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		国への 供給卵数 (千粒)	收容場	收容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備考		
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)					
えりも 以東	東部	根室	幌戸	2,700	2,500				幌戸	1,500	1,260	美留和	500	◎昆布盛	500			
												美留和	500	◎三里浜	500			
		(藻散布)	(別寒辺牛)	釧路	85,900	78,880				美留和	21,970	18,480	0	美留和	500	◎沖根婦漁港	500	
														オソツベツ	1,900	幌戸	3,160	
														オソツベツ	910	◎霧多布港湾沖	2,100	
														オソツベツ	1,190	新川	570	
														オソツベツ	570	藻散布	2,050	
														美留和	1,000			
														オソツベツ	350			
														オソツベツ	700			
														オソツベツ	700	◎藻散布港湾	700	
														美留和	2,140	別寒辺牛	2,000	
														オソツベツ	440	末広川	580	
														オソツベツ	1,400	◎厚岸漁港	3,500	
	美留和	2,100																
	美留和	700	◎老若舞漁港	700														
	美留和	1,400	チヨロベツ	1,400														
	美留和	700	◎昆布森漁港	700														
	釧路		釧路	41,030														
	茶路	10,570	8,860	茶路	3,160	庶路	3,160											
	茶路			茶路		茶路	5,700											
	地区計			88,600	81,380	0	0	10,300		81,380	68,850		20,860	68,850				
	西部	十勝	釧路	幕別 千代田	114,700	105,340				音別	10,460	9,000	音別		音別	9,000		
													幕別	1,500	厚内	1,500		
札内													500	新川	500			
札内													500	モウド	500			
札内													2,000	◎厚内漁港	2,000			
更別第1														十勝	60,500			
更別第1													12,770	10,990				
※十勝													17,700	15,300				
幕別													27,680	23,810				
札内													28,130	24,200				
更生	5,730	4,930	当縁	1,700														
小紋別	2,870	2,470	幕別	1,800	歴舟	8,100												
更別第1			更別第1	1,370														
更別第1	2,430	2,430	幕別	2,000	小紋別	6,900												
更別第1	2,430	2,430	更別第1	2,430														
広尾			広尾	3,000	豊似	3,000												
広尾			広尾	3,400	楽古	3,400												
広尾	31,900	25,800	広尾		広尾	17,400												
広尾			広尾	2,000	音調津	2,000												
地区計			147,400	137,240	0	0	17,700		137,240	116,500		22,200	116,500					
海区計			236,000	218,620	0	0	28,000		218,620	185,350		43,060	185,350					

※北海道区水産研究所

稚魚生産率84%、捕獲親魚の♀比45%、♀使用率90.0%、1尾当平均採卵数2,300粒
係数1.089 * 收容卵数 = 捕獲尾数

◎は海中飼育

令和2年度ベニザケ人工ふ化放流計画(稚魚生産)

海区	地区	振興局	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	道内移殖卵数		センターへの 供給卵数 (千粒)	收容場	收容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	備考
						供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)			
海区計	地区計	釧路	釧路	※1	60	60			※2	60	50			釧路	50	
				60	60			60	50			50				
				60	60			60	50			50				

※1 捕獲数策定指標 ♀比55% ♀使用率75% 1尾当平均採卵数2,100千粒

※2 ふ化場、幼魚生産場の※は北海道区水産研究所